

circle

たいせいサークル

2023

株主通信



特集

華麗なる蔵春閣

大成建設株式会社

蔵春閣(新潟県新発田市)
イラスト/コミックス・ウェブ・フィルム

(P11-P12)

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素よりご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループを取り巻く経営環境は、日本経済が緩やかな回復を続ける中、企業の前向きな設備投資姿勢により民間建設投資が持ち直す一方で、建設資材価格の高止まりによる影響が顕在化していることから、依然として、厳しい状況が続いております。

現在取り組んでいる「中期経営計画(2021-2023)」は、残念ながら最終年度の数値目標を下回る見通しとなっております。加えて、施工中の建物における品質不具合や工程遅延等、株主の皆様にご心配をおかけする事態が発生しておりますことを、深くお詫び申し上げます。役職員一丸となって、信頼回復に努めてまいります。

今年は、創業150周年の節目の年にあたりますが、昨今の技術の進化、社会情勢等を鑑みると、これからの事業環境の変化は我々の想像を超えるスピードと大きさになると考えています。この変化に適切に対応し、ステークホルダーの皆様の期待に応え続けながら、当社グループの中長期的に目指す姿である【TAISEI VISION 2030】の実現を目指してまいります。

なお、株主還元の実現及び資本効率の改善を目的として、2023年5月12日の取締役会決議に基づき、9月30日までに当社普通株式1,787,500株(取得総額8,840百万円)を取得しておりますことを申し添えます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

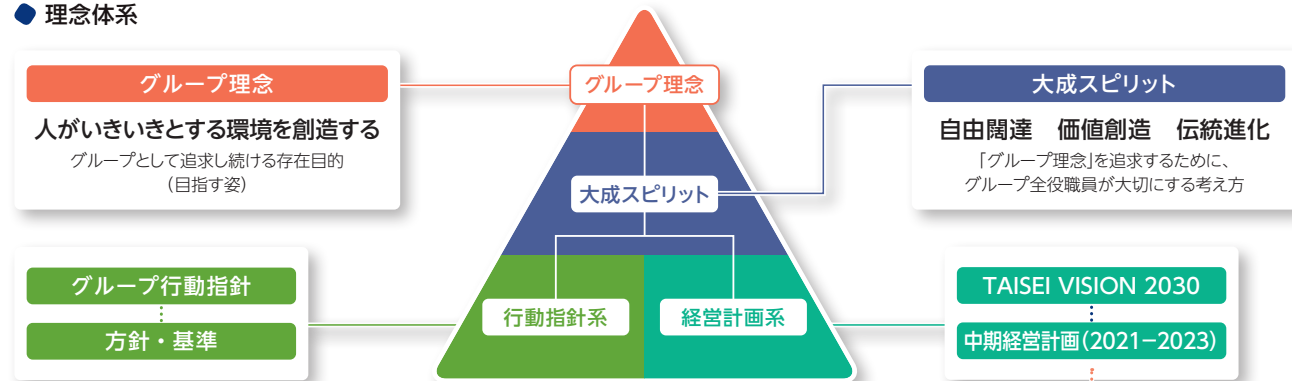
あい かわ よし ろう
代表取締役社長 相川善郎

大成建設グループのサステナビリティ

大成建設グループは、「人がいきいきとする環境を創造する」という「グループ理念」、及びグループ理念を追求するための「自由闊達」、「価値創造」、「伝統進化」という3つの「大成スピリット」のもと、建設業を中核とした事業を通じてサステナビリティ課題の解決を図るというサステナビリティ・トランスフォーメーション(SX)を実現し、人々が豊かで文化的に暮らせるレジリエントな社会づくりに貢献することをサステナビリティの基本方針としています。

事業活動を通じて良質な社会資本をつくり出し、お客様と社会の課題解決に貢献することにより、企業価値と社会価値の向上の循環を実現し、社会とともに持続的に成長することを目指しています。

● 理念体系



● サステナビリティに関連する方針・基準

Environment 環境	サ ス テ ナ ビ リ ティ 基 本 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境方針 ● 大成建設グループ生物多様性宣言 	<ul style="list-style-type: none"> ① 持続可能な環境配慮型社会の実現 ② 品質の確保と技術の向上 ③ 持続可能な社会の実現に向けた技術開発 ④ サプライチェーン・マネジメントの推進 ⑤ 労働安全衛生管理の徹底 ⑥ 技術者の育成・担い手の確保 ⑦ 働きがいのある魅力的な職場環境の実現
Social 社会		<ul style="list-style-type: none"> ● マルチステークホルダー方針 ● 品質方針 ● 安全衛生方針 ● 調達方針 ● 人権方針 ● デジタルトランスフォーメーション(DX)方針 ● 技術開発方針 ● 人財活用方針(ダイバーシティ&インクルージョン方針) 	
Governance ガバナンス		<ul style="list-style-type: none"> ● リスクマネジメント方針 ● 災害時における事業継続に関する方針 ● 業務の適正を確保するための体制の整備に関する基本方針 ● 情報開示方針 ● 知的財産に関する方針 ● 個人情報の保護に関する方針 ● ソーシャルメディアの利用に関する行動基準 ● コーポレートガバナンス基本方針 ● IR方針 ● 税務方針 ● パートナーシップ構築宣言 	

価値創造ストーリー

大成建設グループは、グループ理念「人がいきいきとする環境を創造する」のもと、人々が豊かで文化的に暮らせるレジリエントな社会づくりに取り組んでいます。事業活動を通じて良質な社会資本をつくり出し、お客様と社会の課題解決に貢献することにより、企業価値と社会価値の向上の循環を実現し、社会とともに持続的に成長することを目指します。

グループ理念
人がいきいきとする環境を創造する

グループ長期環境目標
TAISEI Green Target 2050
持続可能な環境配慮型社会の実現

中長期の外部環境・構造変化



経営資本

(数値は2022年度)

人的資本

高い専門性を活かし、お客様が求める以上の価値を創造する感性豊かな人材

連結従業員数(就業人員数)	14,466名
一級建築士(単体)	2,557名
一級土木施工管理技士(単体)	1,921名
一人当たり研修時間(単体)	65時間
総研修金額(単体)	406百万円

財務資本

健全な財務基盤と安定した資金調達

総資産	20,167億円
自己資本	8,291億円
自己資本比率	41.1%

知的資本

成長が期待される産業分野に貢献する技術開発競争力を支える技術力・現場力・提案力

技術開発投資	256億円
うち環境関連投資	223億円
DX関連投資	92億円

社会関係資本

創業150年で培ったお客様からの信頼・ブランド力 強固なサプライチェーン

倉友会会員数	617社
安全衛生環境協会会員数(会員数は2023年3月1日時点)	7,930社

製造資本

世界に広がる拠点及び建設工事作業所 デジタル技術やデータを活用した効率的な生産プロセス

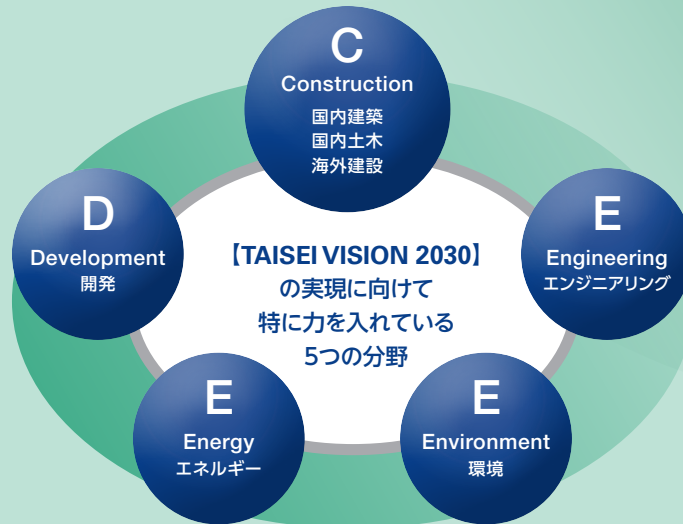
支店数	15支店
恒常的な海外拠点数	9拠点
グループ会社数	27社
設備投資額	183億円

自然資本

自然環境や生物多様性に配慮した事業活動

主な化石燃料使用量	78.3千kL
電力使用量	167百万kWh
水(使用量)	2,390千m³

Input



【TAISEI VISION 2030】
の実現に向けて
特に力を入れている
5つの分野

安全・安心の実現
「人」・「技術」・「情報」の最適活用

マテリアリティ(取り組むべきサステナビリティ課題)

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| 1. 持続可能な環境配慮型社会の実現 | 5. 労働安全衛生管理の徹底 |
| 2. 品質の確保と技術の向上 | 6. 技術者の育成・担い手の確保 |
| 3. 持続可能な社会の実現に向けた技術開発 | 7. 働きがいのある魅力的な職場環境の実現 |
| 4. サプライチェーン・マネジメントの推進 | 8. コンプライアンスの徹底 グループガバナンス体制の再構築 |

Output

2022年度実績

グループ売上高	16,427億円
グループ営業利益	547億円
グループ純利益	471億円
ROE	5.6%
配当性向	53.9%
純有利子負債	実質無借金を維持
ZEB化建物受注件数	10件
特許出願件数	283件
度数率	0.31
女性管理職者数	314名
男性の育児休業取得率	100%

負荷としてのアウトプット

スコープ1+2 総CO ₂ 排出量	291千t-CO ₂
建設副産物排出量	2,420千t
水(排出量)	3,134千m³

Outcome

中長期的に目指す姿【TAISEI VISION 2030】

進化し続ける
The CDE³ COMPANY

人々が豊かで文化的に暮らせる
レジリエントな社会づくりに貢献する
先駆的な企業グループ

業績数値イメージ

グループ売上高	2.5兆円程度
グループ純利益	1,500億円程度
ROE	10%程度

ステークホルダーへの還元

顧客・サプライヤー・社会:	CDE ³ を通じた還元
株主:	配当性向 25~30%
社員:	ダイバーシティ&インクルージョンを進め、 多様な能力を最大限発揮できる働きやすい 環境や人事・給与制度を実現

TAISEI Green Targetにおける2030年目標

脱炭素社会	売上高あたりCO ₂ 排出量(2019年度比) スコープ1+2 ▲50%、スコープ3 ▲32%
循環型社会	グリーン調達を推進 建設廃棄物の最終処分率3.0%以下
自然共生社会	ネイチャーポジティブに貢献する提案・ 工事の実施

貢献するSDGs



大成スピリット

「グループ理念」を追求するためにグループ全役職員が 大切にしている考え方

自由闊達

価値創造

伝統進化

使命

人々が豊かで文化的に暮らせる レジリエントな社会づくりに貢献する

DXビジョン

2030年には、社内外のつながりを強化・拡大することで高品質かつ高効率な建設を実現するとともに、都市・街レベルのスマートシティ事業の運営などの社会全体に寄与するような新たな価値創造の結実を目指します。

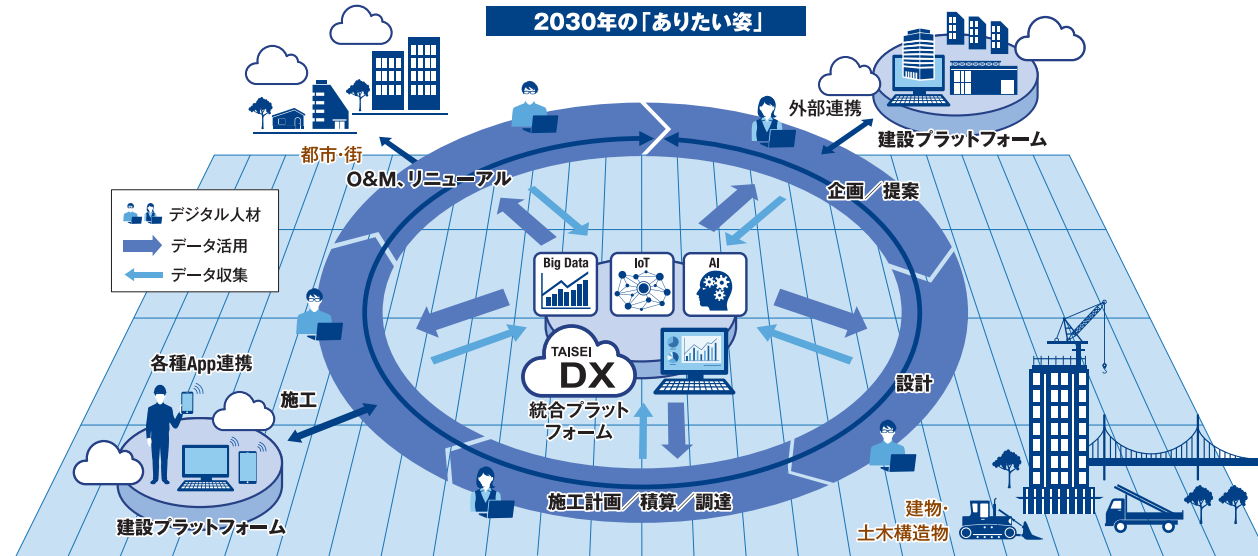


illustration by Hideki Tanaka

大成建設グループのDXは「社会」「顧客」「従業員」の抱える課題の解決を通じ、企業価値向上と社会貢献を実現する

社会	顧客	従業員
自然環境や生活のあり方など多方面でサステナブルかつ最適な都市・建物を実現 ✓ 環境負荷の低い施工や運用管理の実現 ✓ 地域自治体と連携したサステナビリティ課題の解決と事業の創出	常に満足いただけるサポートを提供し、建物・土木構造物の安全・安心を実現 ✓ 引渡後もビルオーナーやテナント、利用者に対して幅広い価値を提供 ✓ 顧客とつながり続けられる営業やサポート基盤の構築	多様な人材が「ものづくり」で活躍できる働きがいのある魅力的な職場環境の提供 ✓ 「遠隔巡視」を活用した現場QCDS E (品質・コスト・工期・安全・環境) 支援 ✓ 統合プラットフォームを介した、本支店、現場間の情報一元化による管理の効率化

大成建設DXサイト
<https://www.taisei-dx.jp/>



人的資本の考え方

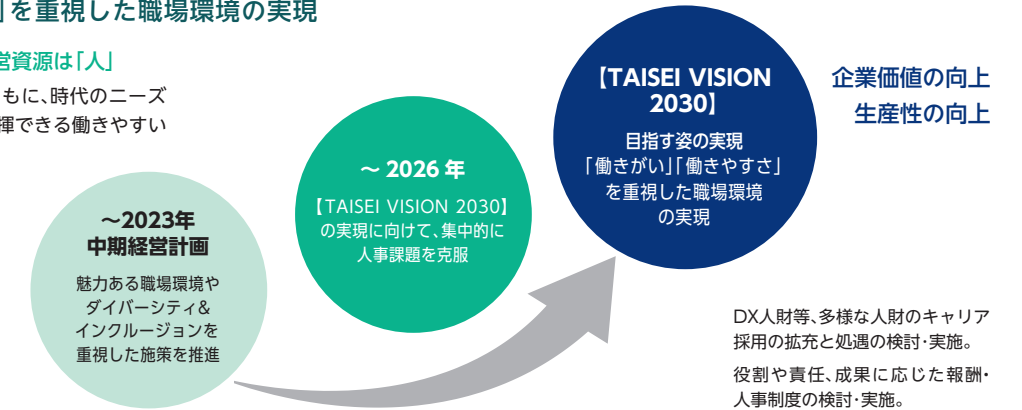
大成建設グループは、中長期的に目指す姿【TAISEI VISION 2030】において、ダイバーシティ&インクルージョンを進め、魅力ある職場環境などを実現することを重点課題の一つとしています。

多様な人材の能力を最大限に引き出し、社員一人ひとりが「働きがい」「働きやすさ」を感じながら活躍できる働き方、職場環境を整備することで、生産性の向上を目指し、企業価値の向上につなげていきます。

「働きがい」「働きやすさ」を重視した職場環境の実現

大成建設グループの最大の経営資源は「人」

多様な人材を確保・育成するとともに、時代のニーズに合った、自らの能力を最大限発揮できる働きやすい環境や人事・給与制度を整備する



【人事政策】

基本方針 企業価値の創造と持続的成長に資する人事政策

目指す組織像	目指す人材像
「働きがい」「働きやすさ」を重視したエンゲージメントの高い組織	明るく、熱意と誠意、企業人としての規律を持ったプロフェッショナル
[中長期の外部環境・構造変化]	[中長期の人事課題]
<ul style="list-style-type: none"> IX 業界再編圧力の高まり SX 環境・社会課題を事業を通じて解決する方向へ DX DXが競争力を左右する時代へ 	<ul style="list-style-type: none"> 人財の採用と育成 <ul style="list-style-type: none"> ■ 土木・建築を志す人材の採用強化 ■ 新事業領域の拡大を促す人材の採用と新しい人事制度構築 ■ 人材育成の強化 ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン <ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な価値観を持つ人材が活躍するための環境整備 働き方改革 <ul style="list-style-type: none"> ■ 働く場所と勤務時間に制約のある建設業の特性を踏まえた柔軟性のある働き方の推進

働きがい

- 多様な人材の採用強化
- 人材の育成と計画的配置
- やる気と働きがいを引き出す人事評価の強化

働きやすさ

- ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの浸透
- 働き方改革の実現
- 健康経営の推進
- ライフプランの支援

2023年度 上半期の概況及び通期の見通し



詳しい財務情報は、当社IRサイトをご覧ください
<https://www.taisei.co.jp/ir/data/>

詳細はQRコードを読み取り、リリースページをご覧ください



■ 上半期の概況

日本経済は、個人消費や設備投資の持ち直しに加え、インバウンド需要の回復により、緩やかな回復基調が継続しております。一方、世界的な根強い物価上昇圧力や、それに伴う金融引き締めの影響に加え、中国経済の先行き懸念等、海外経済の減速に伴う景気の下押しリスクに引き続き留意する必要があります。

建設業界においては、外部環境の回復基調を受けた民間設備投資の持ち直しや、堅調な公共投資により、建設投資全体は増加基調を維持しております。しかしながら、依然として、建設資材価格の高止まりによるコスト上昇の影響が顕在化していることから、厳しい経営環境が続いております。

こうした状況のもと、当社グループの第2四半期の経営成績は、次のとおりとなりました。

受注高は、前年同期比27.0%減の6,903億円となりました。その内訳は土木・建築事業89.2%、開発事業等10.8%です。

売上高は、前年同期比2.7%増の7,381億円となりました。その内訳は土木・建築事業90.2%、開発事業等9.8%です。

利益につきましては、営業利益は売上総利益の減少により前年同期比41.7%減の130億円となりました。経常利益は営業利益の減少により同34.0%減の183億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益の増加等に伴い特別損益が好転したものの、経常利益の減少により同19.7%減の148億円となりました。

■ 通期の見通し

当社グループの通期業績につきましては、次のとおり予想しております。

受注高は、前期比12.2%減の1兆5,900億円の見通しです。その内訳は土木・建築事業91.8%、開発事業等8.2%です。

売上高は、前期比2.9%増の1兆6,900億円の見通しです。その内訳は土木・建築事業92.3%、開発事業等7.7%です。

利益につきましては、営業利益は前期比16.9%増の640億円、経常利益は同6.1%増の670億円、親会社株主に帰属する当期純利益は概ね前期並みの470億円の見通しです。

配当金について

当社は、長期的な安定配当を基本方針として、将来の事業展開に備えるために内部留保の充実を図りながら、業績に応じて株主に利益の還元を行うこととしております。当期の中間配当金につきましては、当期の業績及び今後の経営環境等を総合的に勘案し、1株当たり65円とさせていただきます。また、期末配当金につきましては、1株当たり65円、年間ベースでは130円を予定しております。

1株当たり配当金 (単位:円)

摘要	161期 (2020年度)	162期 (2021年度)	163期 (2022年度)	164期予想 (2023年度)
中間	65.0	65.0	65.0	65.0
期末	65.0	65.0	65.0	65.0
合計	130.0	130.0	130.0	130.0
配当性向(%)	29.4	37.0	53.9	51.6

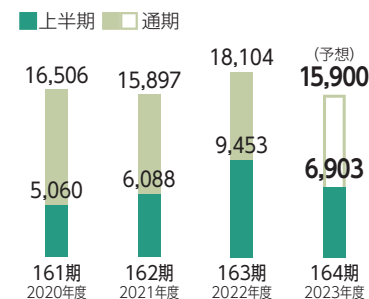
(注) 164期予想の配当性向については、下記自己株式の取得による影響を考慮して記載しております。

自己株式の取得について

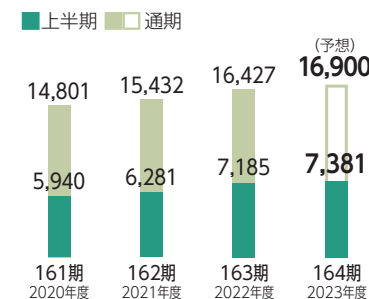
当社は、2023年5月12日に開催された取締役会において、自己株式取得に係る事項について次のとおり決議し、2023年5月15日から2023年9月30日までに当社普通株式1,787,500株、8,840百万円の取得を行いました。

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	6,000千株(上限)
(3) 株式の取得価額の総額	200億円(上限)
(4) 取得期間	2023年5月15日～ 2024年3月31日
(5) その他	本件により取得する自己株式の全数については、会社法第178条の規定に基づく取締役会決議により、全て消却する予定であります。

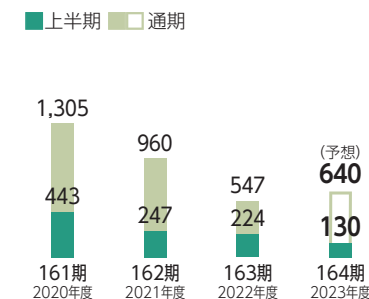
受注高 (億円)



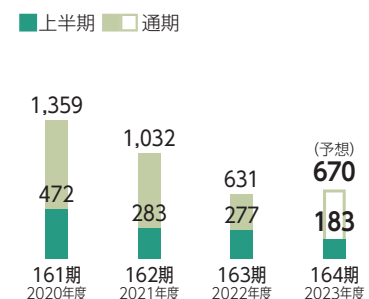
売上高 (億円)



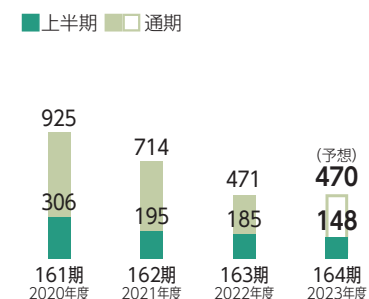
営業利益 (億円)



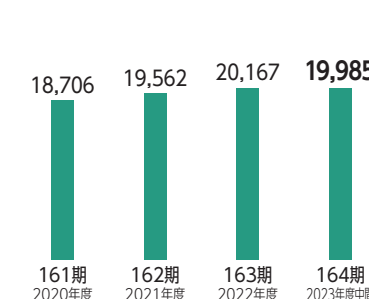
経常利益 (億円)



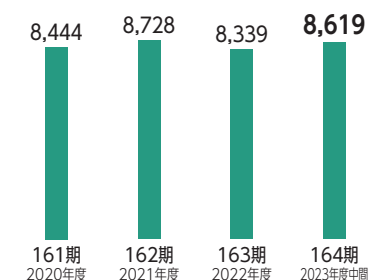
親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)



総資産 (億円)



純資産 (億円)



主なグループ企業

大成ロテック(株)

舗装工事、土木工事、建設用資材の製造・販売・リサイクル

大成有楽不動産(株)

不動産の開発・賃貸・仲介、建物の維持運営管理・リニューアル工事ほか

大成ユーレック(株)

集合住宅の企画・設計・施工、リニューアル工事、コンクリート部材の供給

大成設備(株)

空調・衛生・電気設備及び内装工事の設計・施工

大成建設ハウジング(株)

コンクリート住宅「バルコン」ほかの設計・施工・販売、及び戸建住宅・マンション等のリフォーム

成和リニューアルワークス(株)

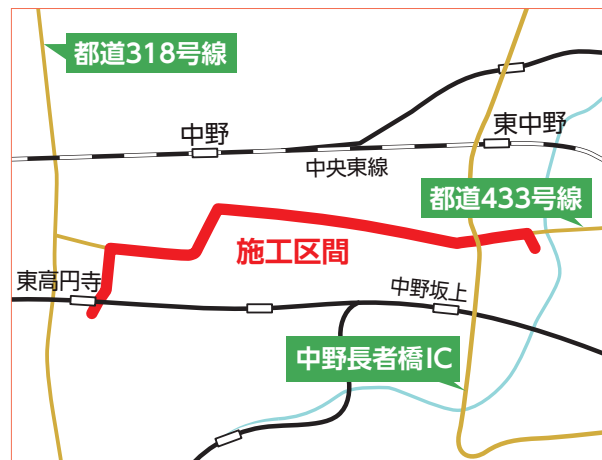
土木工事・リニューアル工事・建設機械などの製作・販売ほか

受注・完成工事のご報告

ORDERS RECEIVED 主な受注工事のご報告



神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線
下水道整備工事(その4)
(神奈川県横浜市) 発注者:横浜市



第二桃園川幹線その3工事
(東京都杉並区・中野区) 発注者:東京都下水道局



阿波製紙株式会社新小松島工場 建設工事
(徳島県小松島市) 発注者:阿波製紙株式会社



田園調布中央病院 増床・新築移転工事
(東京都大田区) 発注者:立花商事株式会社



金沢学院大学附属中学・高校校舎棟増築工事
(石川県金沢市) 発注者:学校法人金沢学院大学

PROJECTS COMPLETED 主な完成工事のご報告



銀座線新橋駅改良土木工事
(東京都港区) 発注者:東京地下鉄株式会社



令和2年度木与防災木与第3トンネル工事
(山口県阿武郡) 発注者:中国地方整備局



(仮称)三井ショッピングパークららぽーと台中新築工事
(台湾台中市) 発注者:三中東区啦啦寶都股份有限公司



川崎市新本庁舎
超高層棟新築工事
(神奈川県川崎市)
発注者:川崎市



(仮称)難波中二丁目
開発計画のうちA敷地計画
(大阪府大阪市)
発注者:Centara Osaka
特定目的会社

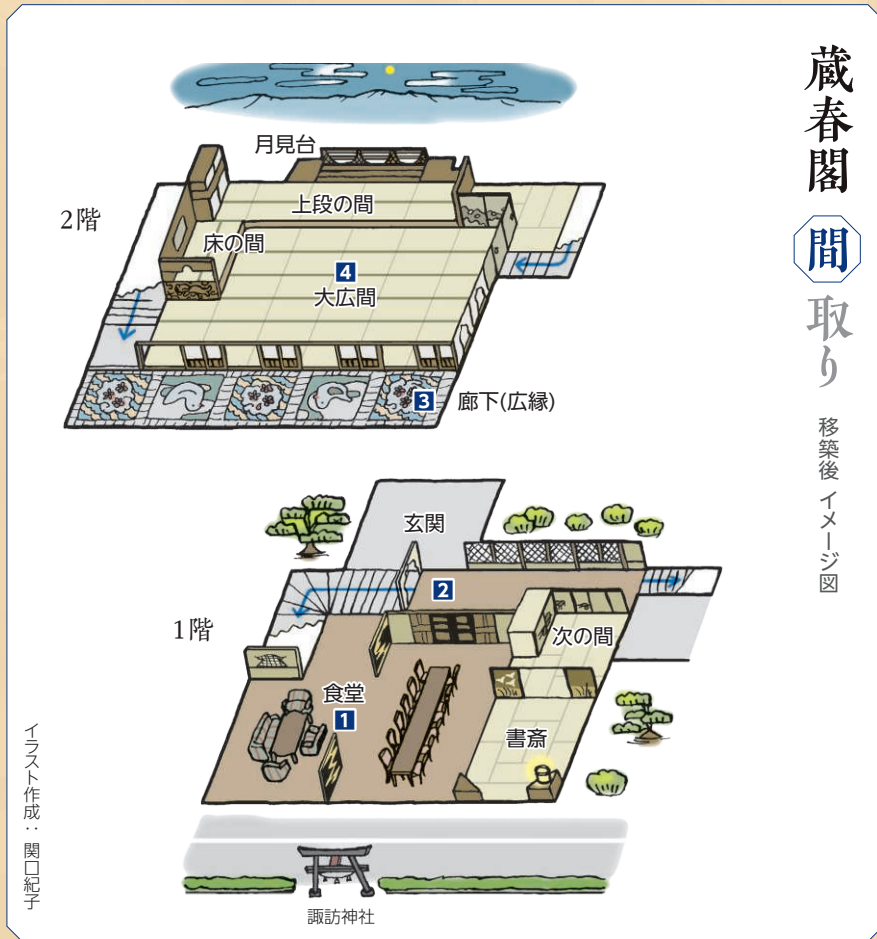
特集 華麗なる蔵春閣

当社の創業者である大倉喜八郎が明治45年に東京・向島、隅田川沿いに建造した蔵春閣は、政財界の重鎮、各国の要人を饗応する迎賓館でした。唐破風入母屋造の外観は重厚で、食堂、書斎、大広間から成る室内は、和・洋に中国風が折衷された独特の華やかさに溢れています。

蔵春閣は、新潟県新発田市に移築され、2023年4月より一般公開が開始されています。移築にあたっては、大倉文化財団からの協力依頼を受けて、当社が解体・移築したものであり、当社の創業150周年を迎える節目の年に大倉喜八郎生誕の地である新潟県新発田市に往時の姿をよみがえらせることができました。今後多くの皆様に蔵春閣を利活用いただき、地域活性化に寄与することを願っております。

蔵春閣の歩み

- 1912年 向島別邸内に蔵春閣が完成
- 1959年 千葉県のリジャー施設へ移築
- 2012年 (公財)大倉文化財団に寄贈 移築保存を視野に解体
- 2017年 新発田市へ寄贈申し込み、移築が決定
- 2023年 移築工事竣工、一般公開開始



蔵春閣 間取り 移築後イメージ図

イラスト作成...関口紀子

住所: 新潟県新発田市諏訪町1-9-20 東公園内
 開館時間: 9:00~16:00 (最終受付15:30)
 休館日: 木曜日(祝日の場合翌日)、12月29日~1月3日
 その他: 詳細につきましては、以下のウェブサイトをご確認ください
<https://www.city.shibata.lg.jp/shisetsu/kanko/kanko/1022382.html>

住所・見学情報



- 天井の高い1階食堂は椅子式の洋風スタイルながら装飾は和風。狩野探幽考案「五階菱崩しの霞図」の屏風を用いたとされる襖は、長らく大倉集古館に収蔵されていた。
- 階段室入り口。大陸風の上意匠は中国美術コレクターであった大倉喜八郎の趣味が反映されている。
- 食後の喫茶スペースだった広縁。そばを流れる隅田川にちなみ、床の大理石モザイクには、都鳥や桜を描いた。
- 匠の技が光る蜀江組折上げ格天井。八角形と四角形から成る格縁取り合い部は、当時まだ普及していなかった三叉ボルトで緻密に接合されていた。

技術紹介 研究開発への取り組み

国内初の「ゼロカーボンビル」の建設を開始

当社は、埼玉県幸手市に建設中の大成建設グループ次世代技術研究所において、2023年9月より国内初の「ゼロカーボンビル」となる研究管理棟の建設を開始しました。当社が開発したゼロカーボンビルの評価指標である「T-ZCB®」を活用して、調達（建設資材製造・入手）、施工、運用、修繕、解体まで含めた建物のライフサイクル全体で発生するCO₂収支をゼロにするゼロカーボンビルを目指しています。

T-ZCB®に基づく評価では、脱炭素化に向けた先進的な技術の導入により、研究管理棟のライフサイクル全体で排出されるCO₂の削減量収支は、標準建築物に対して▲104%となる見込みです。今後当社は、本プロジェクトによって得られた知見を基に、お客様の建物に対して段階的なゼロカーボンビルの提案を推進してまいります。

WEB 他技術紹介について
https://www.taisei.co.jp/about_us/wn/



次世代技術研究所 研究管理棟完成予想図(外観)

ESG NEWS 持続可能な社会の実現に向けて

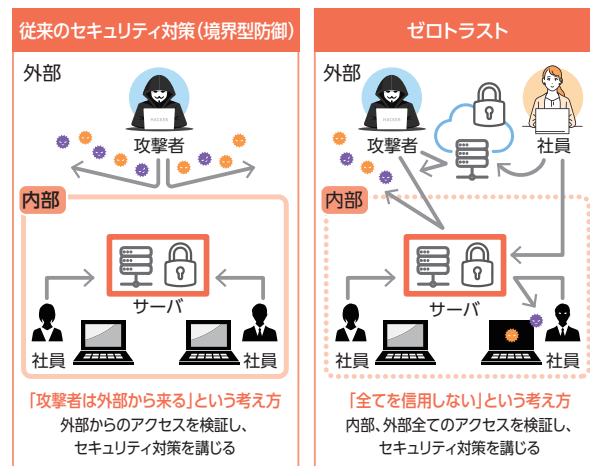
事業継続への積極的な取り組み Governance

セキュリティ強化と様々なワークスタイルへの適応

新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、リモートワークやオンライン会議などのICT環境が普及する一方、それらを狙ったサイバー攻撃も年々増加しています。現在、当社が外部からの不正アクセスをブロックする件数は、7年前から比較すると約10倍の件数となっています。

当社は、ワークスタイルの変革に適應させつつ、情報セキュリティ対策でも万全な状態を維持し提供するため、「ゼロトラストネットワークアクセス」の全社展開を行いました。ゼロトラストネットワークアクセスとは、「どのようなネットワークアクセスも信用しない(=ゼロトラスト)」というセキュリティ・モデルを前提としたシステムで、本システムの導入により、現在は会社パソコンを社外に持ち出してもセキュリティが担保された状態で利用することが可能となりました。

ゼロトラストネットワークアクセスの大規模な導入は、建設業界で初めての事例であり、今後の生産性向上と働き方改革の推進に大きく寄与すると考えております。



会社概要・株主メモ (2023年9月30日現在)

【お知らせ】
 ウェブサイトリニューアルに伴い様々な情報を集約した個人投資家向けウェブサイトをオープンしましたので、ぜひご覧ください。



WEB 個人投資家向けウェブサイト
<https://www.taisei.co.jp/ir/individual/>

商号 大成建設株式会社
 (英文名 TAISEI CORPORATION)
 設立年月日 1917年(大正6年)12月28日
 資本金 122,742,158,842円
 従業員数(就業人員) 8,970名
 本社 東京都新宿区
 西新宿一丁目25番1号
 電話 03(3348)1111(大代表)

役員

取締役
 代表取締役会長 田中茂義 取締役 吉野雄一郎
 代表取締役社長 相川善郎 取締役 辻利之
 代表取締役 土屋弘志 取締役 西村篤子
 代表取締役 岡田正彦 取締役 大塚紀男
 取締役 木村普 取締役 國分文也
 取締役 山浦真幸 取締役 上條努

監査役
 常勤監査役 林隆 監査役 田代政司
 常勤監査役 奥田秀一 監査役 大原慶子
 監査役 佐藤康博 監査役 三浦正充

*西村篤子、大塚紀男、國分文也及び上條努は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
 *佐藤康博、田代政司、大原慶子及び三浦正充は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式の状況

発行可能株式総数 440,000,000株
 発行済株式総数 188,771,572株
 当期末株主数 57,752名

株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	29,149	15.61
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	9,306	4.98
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	6,293	3.37
大成建設取引先持株会	6,066	3.25
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口	5,857	3.14
大成建設社員持株会	3,674	1.97
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	3,303	1.77
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	3,260	1.75
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティー 505234	3,181	1.70
明治安田生命保険相互会社	2,847	1.53

※ 持株比率は発行済株式総数より自己株式(2,089,802株)を控除して計算しております。
 ※ なお、自己株式2,089,802株には株式給付信託(BBT)が保有する当社株式99,400株は含めておりません。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 定時株主総会の議決権：毎年3月31日
 期末配当金：毎年3月31日 中間配当金：毎年9月30日
 上場証券取引所 東京・名古屋
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 みずほ信託銀行株式会社
 公告の方法 電子公告 公告掲載URL (<https://www.taisei.co.jp/>)
 但し、やむを得ない事由によって電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

お知らせ INFORMATION

配当金のお支払期限は定款の定めにより支払開始日から3年となっております。下記の配当金につきましては、お支払期限が迫っておりますのでご確認をお願いいたします。

(お支払期限)

- 161期期末配当金: 2024年6月28日
- 162期中間配当金: 2024年12月2日

株式事務手続きに関するお問い合わせ先 ▶ みずほ信託銀行 証券代行部

0120-288-324
 受付時間 09:00~17:00(土・日・祝日を除く)

大成建設グループの街づくりのノウハウが、
あなたのいきいきとした暮らしをサポートします。



大成建設グループ

ワンストップでお応えします

くらしと街のコンサルジユ

くらしと街のコンサルジユ HP



専用ダイヤル 電話番号 ☎ 0120-773-335 受付時間 9:00 ~ 17:00 (夏季・年末年始・大型連休等の長期休暇期間を除く)



〒163-0606
東京都新宿区西新宿一丁目25番1号
電話 03(3348)1111(大代表)

